

レセプトチェッカーFUGA Ver. 1.3.0 S69 (build017) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカーFUGA安定版Ver. 1.3.0 S69導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカーFUGAをご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は <http://receipt-checker.jp/downloadpage/> でご確認ください）。

1. 導入についての注意事項

1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカーFUGA S69更新用Setup.exeを利用される場合は、更新用Setup.exeをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

1-2. インストール方法

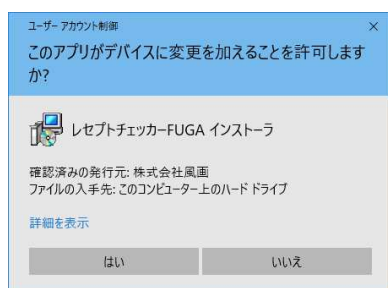
【手動更新】

(1) 下記サイトより、S69 更新用 Setup.exe をダウンロードします。

レセプトチェッカーFUGA 最新版のダウンロードサイト

<http://receipt-checker.jp/downloadpage/>

(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。



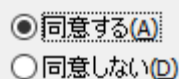
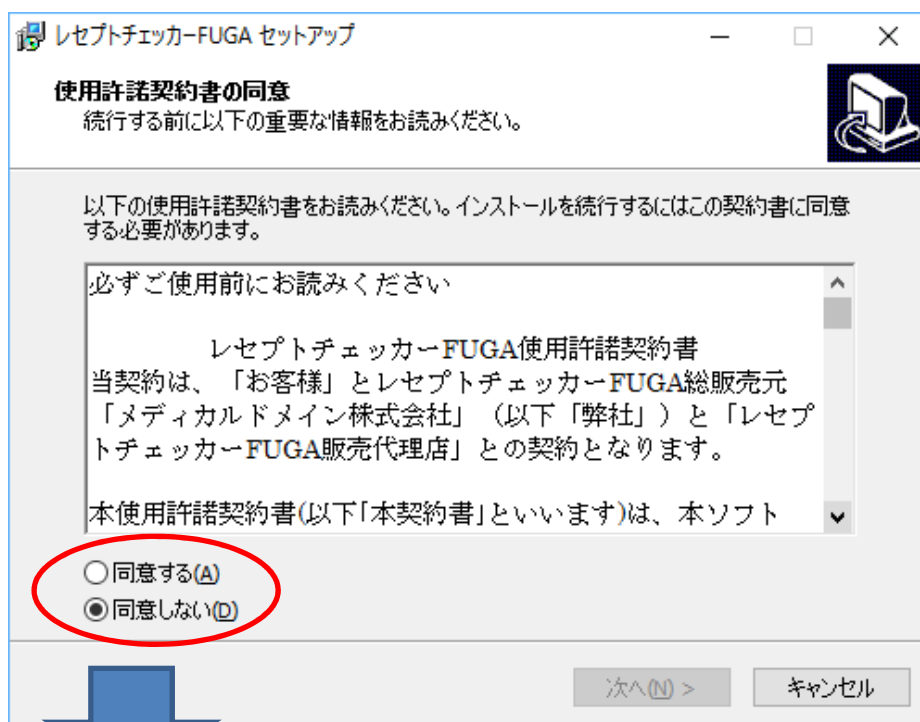
上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

「レセプトチェッカーFUGA セットアップウィザードの開始」画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。

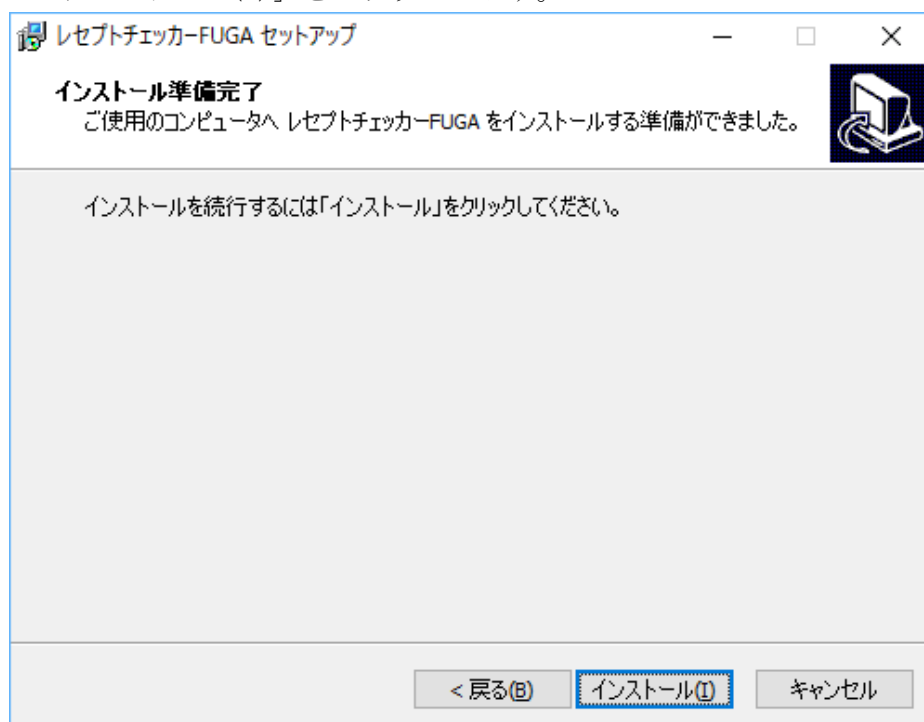


使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。

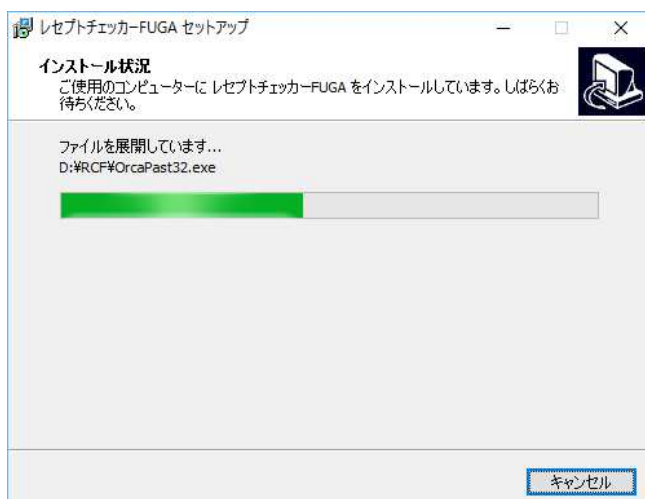


「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

「インストール(I)」をクリックします。



「インストール状況」が表示されます。



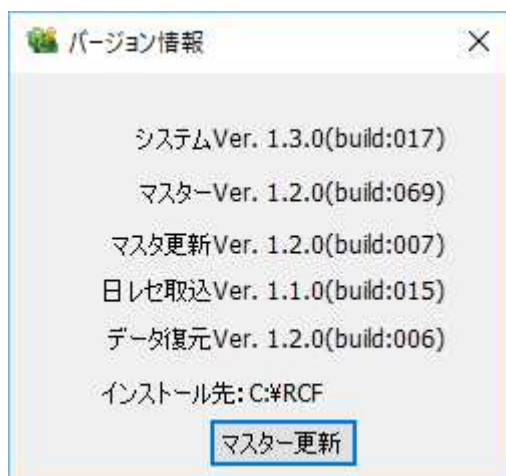
「レセプトチェッカー-FUGA セットアップウイザードの完了」画面が表示されます。「完了」をクリックして終了です。



(3) システムバージョンは Ver. 1.3.0(build:017)になっております。



- (4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.3.0(build:017)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。

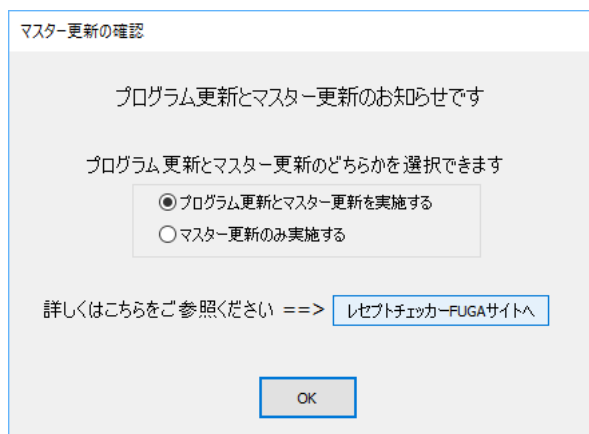


【自動更新】

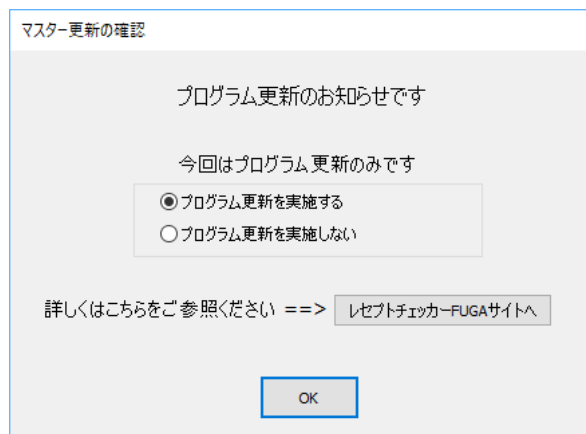
「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以降のバージョン場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は、左下図のように表示されますので、選択することができます。プログラム更新のみの場合は、左下図のように表示されます。

マスター更新（診療行為や医薬品追加）のみの場合は、「マスター更新の確認」画面は表示されず、自動的に更新されます。

【プログラム更新とマスター更新の場合】

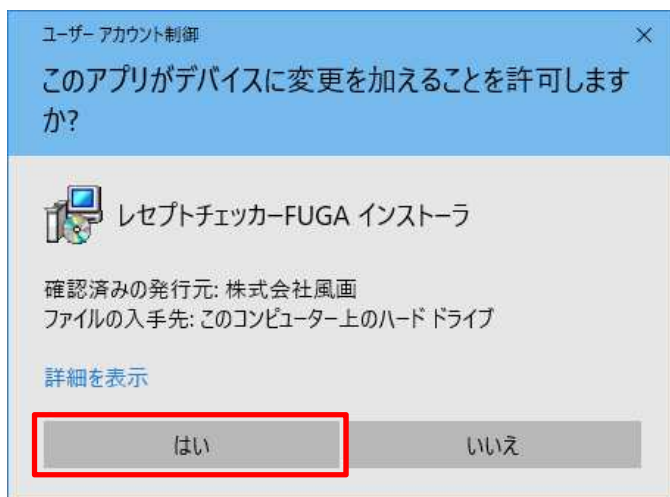


【プログラム更新のみの場合】




「システム Ver. 1. 2. 0(build:005)」以前のバージョンの場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストール用プログラム(Setup.exe)をダウンロードし、自動でインストール開始します。

以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

2. 変更された主な内容

(1) 5月1日にコメントが追加されています。

詳しくは、下記サイト「マスター更新内容」をご参照ください。

<https://receipt-checker.jp/mn-s69/>

(2) 「初期設定」画面の有効期限表示を西暦に変更しました。

ライセンスキー	<input type="checkbox"/> 項目のサイズを変更に対応
カルテ番号設定	<input type="checkbox"/> 拡張漢字対応
<input type="checkbox"/> レセ電年月を入力する	<input type="checkbox"/> 両面印刷しない
<input type="checkbox"/> 明細は集約して表示	<input checked="" type="checkbox"/> 診療日は全て記載
<input checked="" type="checkbox"/> グループリストまで自動処理	
<input checked="" type="checkbox"/> レセプトチェックリストに診療日記載	
<input type="checkbox"/> 薬剤での疑い病名Hitを有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> レセ電年月をプルダウン入力する	
有効期限は2019年12月31日までです	

(3) 特定の薬剤のみ「疑い病名」でも合格とみなす機能を追加しました。

適応症修正画面の「薬剤での疑い病名Hitを有効にする」にチェックを入れます。

併用薬設定	病名禁忌設定	併用薬設定	病名禁忌設定
<input type="checkbox"/> 疑い病名の場合確認する		<input type="checkbox"/> 疑い病名の場合確認する	
誤判定病名登録	複写	誤判定病名登録	複写
<input checked="" type="checkbox"/> 薬剤での疑い病名Hitを有効にする		<input type="text"/>	修正更新日時
		<input checked="" type="checkbox"/> 薬剤での疑い病名Hitを有効にする	

(4) 「レセプト抽出」のテンプレート設定で「薬剤情報提供料が算定できないのに算定している場合抽出する」のテンプレートを追加しました。

3. 不具合対応

- (1) 「候補病名表示」や「候補病名リスト」において、複数病名チェック対象薬剤で既にHitしている病名を表示しないようにしました。
- (2) 「候補病名表示」で誤って[病名追加]をクリックして、病名を入力しなかった場合でも空欄が残らないようにしました。
- (3) 「候補病名」にチェックを入れ、選択しても印刷時に全て表記されていたのを改善しました。
- (4) 「詳細」画面で、「明細は集約して表示」の場合、点数が加算されていない不具合を改善しました。また、「詳細」画面から展開される「診療行為履歴」画面で1日量表示の不具合を改善しました。
- (5) グループリスト画面から不合格リストを印刷時に、検査薬剤が疑い病名で合格にも拘わらず、印刷対象となる不具合を改善しました。
- (6) ダウンロードサーバーのSSLバージョンの変更に伴い、対応しました。